

人の集まりを支援するツール QWikS (クウィックス)

後藤 祐一 遠藤 匠 染谷 雅美 高橋 勲男 程 京徳

埼玉大学大学院理工学研究科

{gotoh, endo, monster, isao, cheng}@aise.ics.saitama-u.ac.jp

集会やイベントを企画するリーダーや幹事、役員の業務をできる限り楽なものとするツール QWikS (クウィックス) を提案する。

A Tool for Helping Managers of Gatherings: QWikS

Yuichi Goto, Takumi Endo, Masami Someya, Isao Takahashi, and Jingde Cheng

Graduate School of Science and Engineering, Saitama University

We propose a tool for helping managers of gatherings. We name the tool QWikS.

1 はじめに

近年, WWW を介してのコミュニケーションが可能になってきている。掲示板やチャット, ICQ, メッセンジャー, SNS (Social Networking Site), Weblog などのツール [1] を使い, 見知らぬ人同士が WWW を介してコミュニティを構成するようになった。また, グループウェアが普及し, 会社内や同一部署内でスケジュールや資料を共有し, 仕事を円滑に進めることができるようになった。

しかしながら, Web 上で構成したコミュニティや, 地域活動, 会社, 学校などで構成したコミュニティの構成メンバーが集おうとするときには, 日取りの調整や場所の選定など幹事に負担のかかる仕事が生じてしまう。本研究では, 人が集まるときの不便を考察し, 人が集まることを支援するツール QWikS を提案する。

2 人の集まりを支援するツール

友達や同僚との飲み会, 会社やサークルでの会議, 部活やサークルでの試合, 発表会や, 地域社会や学校における各種イベントなど, 人はさまざまな目的やさまざまな形態で集まる。これらの人の集いに共通するのは, いつ, 誰が, どこにあつまるか? という点である。イベントを開催する際に, 強制的に日時, 場所, 参加者を決められないとき, いつ, 誰が, どこに集まるかを決定するには多くの場合, 多大な労力と時間が必要とされる。また, イベント情報の周知にも労力が費やされる。

誰に参加してもらうか?

誰に参加してもらうかは, イベントの目的によって異なる。会議や試合の場合には参加者は議長や監督の権限によって決められる。しかしながら, 飲み会や遊びなどでは, 幾人かの候補のうち日程の都合のつく人に参加して欲しいと考える場合も少なくない。また, 試合や合同コンパ (男女の二つのグループが集まって行う飲み会) などの場合, 参加者の単位としてグループを扱いたい場合もある。また, 発表会や文化祭などのように, 自分の属しているグループの外部の人間を観客, 訪問客として招きたい場合もある。

いつ行うか?

行動の範囲や生活時間が個人ごとに大きく異なる現代において, イベントをいつ行うのかの決定, すなわち, スケジュール調整は最も面倒で, 非生産的な作業である。スケジュール調整を行う際には, 多くの場合, 紙やディスプレイ上に表を作り, 参加者 (もしくは, 参加候補者) から提出された都合のよい日付, もしくは都合の悪い日付を表に書き込み, 都合の良い日時を探す。参加者 (参加候補者) が多いときこの作業は大変面倒である。また, イベントによっては, 必ず参加して欲しい参加者と, 都合がつかなければ欠席でも良い参加者が存在するため, 参加者の一人一人に重み付けをしてスケジュールの調整を行わなければならない場合もある。

どこで集まるか?

人が集まるためには物理的にどこかに会場を設定しなければならない。イベントの種類によっては, 有料の会場や予約が必要な会場をあらかじめ用意する必要がある。

る。しかし、会議やイベントを行う場所を決めるために会議を行うのは本末転倒である。また、飲み会などの場合には何を食べたいのか、何を飲みたいのかも聞かなければならない。会議やイベントを行うために質問したいことが多ければ多いほど、電話やメールでそれを問い合わせるのは面倒な作業となる。

どうイベントの情報を伝えるか？

いつ、誰が、どこに集まるかを決定した後は、参加者にイベントの情報を伝える必要がある。しかし、イベントに関する情報すべてを誰にでも公開したいわけではない。一般にグループは会議やイベントの内容を企画し、運営するリーダーたち（以下、役員）と役員が決めた方針に従って会議やイベントに参加するメンバー（以下、構成員）に分けることができる。また、試合や発表会などの外部からのお客さん（以下、部外者）を招くようなイベントにおいては、部外者にも情報を提供する必要がある。われわれは多くの場合、これらの三者に平等に情報を公開することはない。役員のみが知っていればよい情報は役員のみで、グループ全体で知っているべき情報は役員と構成員とで、部外者に伝えたい情報はグループ全体と部外者に情報を公開する。

以上より、人の集まりを支援するツールは、少なくとも上記のいつ、誰が、どこに集まるかの決定とその後の参加者へのイベント情報の伝達を支援しなければならない。

3 人の集まりを支援するツール QWikS

我々は、「人が集まるのはよいことだ」という思想のもと、人の集まりを企画するリーダーや幹事、役員の業務をできる限り楽なものとするツール QWikS（クウィックス）を提案する。QWikSは、スケジュール調整機能、アンケート機能、Wikiを用いた情報公開機能を連携させて幹事の業務を軽減させることを目的とする。QWikS（クウィックス）という名前は、本ツールの主機能であるアンケート（Questionnaire）、Wiki、スケジュール調整（Scheduler）から名づけた。また、人が素早く（Quick）集まれるという意味もこめられている。

我々は、QWikSを人の集まりを支援する汎用的なツールとするために、個々のイベントに特化させず、スケジュール調整、アンケート、情報公開機能のみを提供する。また、イベント開催のためにスケジュール調整を行う間柄ならば、既に顔見知りである可能性が高いことから、個人情報を入力を極力させないようにする。一方、最近では自分のスケジュールを計算機上で動くスケジューラーやグループウェアで管理している人も多い。そこで、QWikS以外のシステムで作成した

スケジュールを取り込める機能と QWikS で作成したスケジュールを出力できる機能を付け加える。QWikSのアンケートシステムとしては汎用アンケートサーバ ENQUETE-BAISE を使用する [2]。

現在、既に Web アンケートサーバや Web スケジュール調整サーバ、Wiki サーバは開発、公開されている。しかし、これらはバラバラに存在しており関係していない。また、従来の Wiki を人が集まるのを支援するという目的に使うのは不便である。Wiki は、共有された情報をすべて公開するという思想によって開発されており、多くの実装もこの思想のもと開発されている。これは、イベント情報を特定の参加者に公開したいという要求からはずれている。

グループウェアは、人が集まるのを支援するという目的に最も合致したツールであるが、従来のグループウェアはデータを持つとすすぎる。人が集まるのに必要な仕事はスケジュール調整、アンケート、イベント情報の公開だけであるのだから、それ以外に必要な情報をシステムに蓄えておく必要はない。スケジュール調整も、メンバーの都合のよい時間か悪い時間だけを入力すればよく、そのメンバーがいつどこで何をしているかをメンバー間で共有する必要はない。イベント情報の公開も Wiki の表現力や機能を超えた情報ならば、直接集まって情報を共有したほうがよい。システムに持たせるべき情報はメンバーの名前とメールアドレスで十分である。

4 課題

QWikS を実現するためには、このツールが PC と携帯電話の両方から使えなければならない。このため、どのようにすれば、携帯電話からアンケートとスケジュール調整を簡単にできるかについて検討する必要がある。

謝辞

本研究の出発点となった、汎用電子アンケートサーバ ENQUETE-BAISE の共同開発者の小出 雅人氏、長濱 圭吾氏に感謝いたします。

参考文献

- [1] 財団法人インターネット協会：インターネット白書 2005、株式会社インプレス (2005)。
- [2] 後藤 祐一、小出 雅人、長濱 圭吾、程 京徳：ENQUETE-BAISE: ユビキタスアンケートのための汎用電子アンケートサーバ、情報処理学会 2004 年情報学シンポジウム論文集、東京、日本、pp. 81-84 (2004)。